

環境調査結果のお知らせ

平成25年9月20日午前9時から浦ノ内湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温26～28℃、塩分29～32、溶存酸素量0～9mg/lでした。透明度は2.5mで、貝類に対して非常に有害なヘテロカプサ・サーキュリスカーマは大幅に減少していました。

水温と塩分(表1・2)

水温は25.8～27.7℃、塩分は29.3～32.0でした。前回調査時(H25.9.9)と比較して、水温は表層及び底層が1℃低下、塩分は表層が8上昇していました。

溶存酸素量(表3)

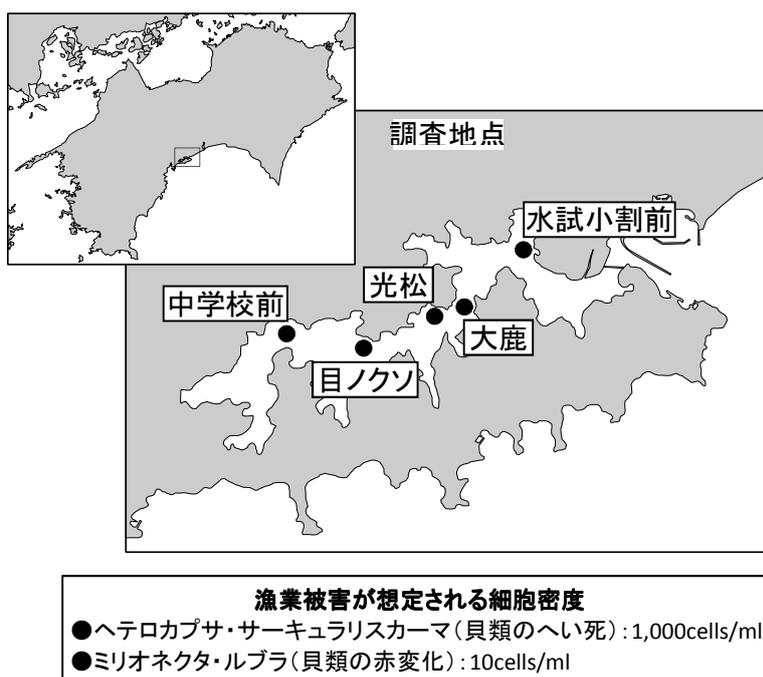
溶存酸素量は0.4～8.8mg/lで、前回調査時より表層が5mg/l低下、底層が3mg/l上昇していました。

プランクトン(表4・5)

透明度は2.4～2.5mでした。

検鏡の結果、貝類に対して非常に有害なヘテロカプサ・サーキュリスカーマは大幅に減少しており、最高細胞数は40cells/mlでした。その他、貝類の赤変化を引き起こす危険性のあるミリオネクタ・ルブラが最高36cells/ml確認されました。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲む等して、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。



環境調査結果表(水温・塩分・プランクトン等)

表1 水温(°C)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(H25.9.9)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	26.0	26.1	26.3	26.3	26.0	26.2	26.9	▲ 0.6
2m	27.7	27.5	26.5	26.4	26.0	26.8	26.6	0.2
5m	26.7	26.5	26.4	26.4	26.2	26.4	26.3	0.2
10m	26.9	26.5	26.4	26.3	-	26.4	27.1	▲ 0.7
B-1m	27.2	27.0	26.4	26.4	25.8	26.6	27.8	▲ 1.2

表2 塩分

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(H25.9.9)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	29.3	29.3	29.8	29.5	30.5	29.5	21.4	8.2
2m	30.8	30.8	30.2	30.2	30.6	30.4	29.0	1.5
5m	31.1	31.1	31.1	31.2	31.1	31.1	30.2	1.0
10m	31.6	31.5	31.5	31.5	-	31.5	31.5	▲ 0.0
B-1m	31.9	32.0	31.7	31.7	31.8	31.8	32.5	▲ 0.8

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(H25.9.9)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	8.3	8.8	8.5	8.4	8.0	8.6	13.3	▲ 4.8
2m	6.7	8.1	8.8	8.3	7.8	8.4	5.8	2.6
5m	4.4	4.8	4.9	4.0	6.8	4.6	4.6	▲ 0.0
10m	1.3	2.7	3.6	4.9	-	3.8	2.6	1.1
B-1m	0.4	0.4	4.5	4.5	6.5	3.1	0.5	2.6

※ 目ノクソ・光松・大鹿の平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前
水深	13.0	16.3	17.5	17.3	9.9
透明度	2.5	2.5	2.5	2.5	2.4
前回透明度	0.9	1.1	1.1	1.0	1.4

表5 プランクトン(cells/ml)

		ヘテロカプサ・ サーキュラリスカー マ	ミリオネクター ルプラ	プロロセントラム・ シグモイデス	ジャイロディニウム属 (ドミナンス、 スピラレ)	ケイ藻類
中学校前	0m	10	4	0	4	17,300
	2m	0	1	0	1	13,700
	5m	40	10	5	5	4,300
目ノクソ	0m	0	0	1	2	16,500
	2m	10	0	1	5	17,400
	5m	0	36	29	4	8,100
光松	0m	0	2	0	5	14,300
	2m	0	16	0	6	9,800
	5m	0	26	5	3	13,600
大鹿	0m	0	1	0	2	10,100
	2m	0	7	0	9	11,200
	5m	0	21	3	2	7,300
水試小割前	0m	0	8	0	1	10,200
	2m	0	24	0	0	13,000
	5m	0	30	0	0	4,100